

町の概要

町の生いたち

昭和33年3月31日、上富田町と富田川町が合併して、新しく上富田町が誕生しました。

国勢調査時の人口でみると、昭和35年には9,545人であった人口は、昭和60年では12,702人となり、平成17年では14,775人、平成22年では14,807人、平成27年では14,989人、令和2年では前回より247人増加の15,236人となり、これは和歌山県下で1番目の増加率となっています。

地 勢

和歌山県の西南部に位置し、熊野古道「中辺路街道」の入り口であり、東と北は田辺市、西と南は白浜町に隣接し、中央部を富田川が流れています。

気候は黒潮の影響により、年平均気温約17度と温暖であります。

交通は、和歌山市まで鉄道で1時間、南紀白浜空港より東京まで約60分の距離にあります。紀勢自動車道が開通し、国道は42号並びに311号が通り、交通輸送にも恵まれています。



町の花 「さくら」

バラ科でその品種は多く、用途も公園樹や街路樹、家具など広く、春には町内の各所でさくらまつりが行われています。

(昭和63年11月3日制定)



町の木 「ヤマモモ」

暖地を象徴するヤマモモ科の常緑中高木、町内の山間部に自生し、家庭でも庭木として広く親しまれています。

(昭和63年11月3日制定)